

科目名	リハビリテーション医学			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>リハビリテーションマインドを基に、「障害のある方」の実用的な移動歩行能力・日常生活活動能力・コミュニケーション能力の向上のための多職種によるチームアプローチ・リハビリテーションリスク管理等も含めて、臨床の現場で役に立つ思考法と知識を身に付ける。</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>現在の日本における医療の現状を知り、医療の心と医療現場での基本を身につけ、リハビリテーションの現場に関連する医療の基礎知識を学ぶ。</p>							
<p>〔講師の実務経験〕</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <p>リハビリテーションの基礎とその障害への対応について理解する。</p>							
回数	講義内容						
1	わが国の医療の現状(健康づくり対策、疾病予防、医療の現状)						
2	リハビリテーションの定義とこれからのリハビリテーション						
3	疾病の成り立ちと生活習慣病						
4	医療の現場での基本、救急蘇生法						
5	外傷現場での救急処置と外傷・障害への対処、トレーニングの原則						
6	医療の基本と医療制度、老人の特性						
7	介護保険制度15特定疾病						
8	姿勢と歩行						
9	重要な症候・症状						
10	問診と理学所見、検査、リウマチ病発症のメカニズム						
11	各種疾患のリハの合併症						
12	急性期、回復期リハビリテーション						
13	脊髄損傷						
14	四肢切断—チームアプローチの重要性						
15	まとめ						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>試験、100点満点で評価する。</p>							